

新小樹町二玉置勉強堂
東京瀬戸物町玉置合社

本町二丁目
篠崎運動具店
電話 三〇三番
振替 四六八番

デビラ△いか様はげ
こひき人かみそり
の娘か子供もつけて顔
障にされる不思議皮
膚に無毒除毛
料 掛銭 中五十銭

奥へく 有望な満洲

これから工業兵中佐の談

朝鮮の南滿洲も此の頃では、
の方面に發展しつゝあり、殊
に鐵道、如く南滿洲、
に鐵道する通商の便は、
由、易、港、の大連とて、一年約二百
五十萬噸の貨物を輸出して居る、
から滿洲の將來は有望なりと申さ
ねばならぬ、それによつて大連の
出、年、約、七、十、萬、噸、それが年
々百分の一、五、の自然増加を示
し、且つ輸出額は年々一割の増加を
來しつゝあり、
▲埠頭の設計も、大連が去る大
正二年に設計した十年計畫の大連港
は、大正八年に於て竣工すると
なり、
▲埠頭の設計も、大連が去る大
正二年に設計した十年計畫の大連港
は、大正八年に於て竣工すると
なり、

鬼の手を逃れて

自、金、を、逃、れ、た、若、妻、
全州縣東面石里村、
三、は、幼、な、時、及、親、を、失、ひ、
の、年、迄、兄、の、手、で、育、つ、れ、居、る、
十六歳の三月、全州縣、
十六歳の三月、全州縣、

朝鮮師團へ

朝鮮師團へ、
第一回、十一月廿四日、
第二回、十一月三十日、

貨車破壊

湖南線一時不通、
二十八日、
貨車破壊、

若き男女

劇、
若き男女、
劇、

洋琴の名手

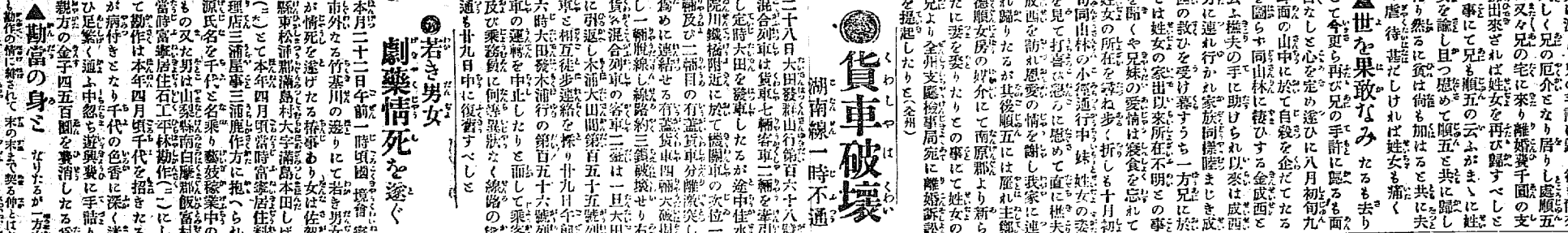
小倉女史、
洋琴の名手、
小倉女史、

放火犯人捜索

大阪府、
放火犯人捜索、
大阪府、

鴨江流氷甚し

鴨江流氷甚し、
鴨江流氷甚し、
鴨江流氷甚し、



公 告
京城地方法院
左ノ不動產ヲ左ノ時ニ競賣ス
一、京府光化門外、
一、京府光化門外、
一、京府光化門外、

特約店集募
本、
特約店集募、
本、

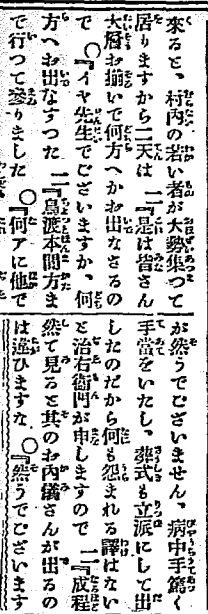
他、
他、
他、

天、
天、
天、

天、
天、
天、

第二百二十席

本間久四郎の家に病人は滞在して居りましたと、本間の親類の者が皆来り、懇意になつたが庄内より二里ばかり入つた處で春田村の名主渡邊清左衛門は本間の親類でございしますが御聖二天の病人は是非手前の方へと云はれ此の清左衛門の方へ参つて遊んで居りまする處、廿日はかゝ經つと村内の者も皆遊びに来るといふ譯、一日用事がございまして二天が本間方へ参り松常若田村の入口まで歸つて



外科 內科 皮膚科 花柳病科
院長 正六位階四等 島崎龍一
京城旭町二丁目(本通)より左下久之
島崎病院
手術室新設
普通病棟附設
電話二七三六番

聞いたり爲すつたらうが、此處に不
思議なことがござりますので、「二」へ
エーそれは何でござる。○先達治右
衛門の女房が永らく病ひまして手當
の甲斐もなくとうとう死に去ました
二それはお氣の毒なこと。○然
しうすると死に女房、毎晩のやうに治
い」と二天は渡邊方へ歸つて参り、
餘り判らない留して、「二然ういふこ
ごなら成丈大勢が宜いのでせう。
私も今晚から参りませう。○イヤ
先生が来て下されば氣丈夫で、何う
かお願ひ申します。二直ぐ歸かに行
きますから貴下方は先へ行つて下さ
い」と二天は渡邊方へ歸つて参り、

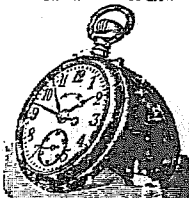
此の話しを聴聞にすると、それは面白、俺も一縷も行う。」と支度をして、翌朝二天治右衛門の庭へ通つて来た。二へ云答へ、同伴へ「人形屋のつて参りました。」成次が大勢の方宜うございます、さア此方へお上んなすつて、二治右衛門さんは〇彼處に寝て居ります。二寝てお低でならそつとして置くが宜しい。」と裸人の寝て居る次の室に大勢集つて宵内は何やら思ひ／＼に話をしていたし、居りましたが段々夜が更けて参ると、〇さア皆さん、もうンロー／＼来る時分だから歸にしなくては時けない。」と云つて皆々が治右衛門の寢る姿を見て居るとスヤ

院主 佐々木杏造

「寢て居たがウーンと云うなされる大發見を見て」「ツレ出たぞ」「騒ぐのを二天は是を制し」「當さん騒いでば叶々せん静になさう」○「デスガ先生、靜にしては居られせん承知をして來たもの、化装に出られちやア掛りません」「来た何にも出やアしない」○「ヘー未だ出ませんので、それを聞いて安心をしました」此時隣室は病人の枕頭へ来て「曉、治右衛門、眼目を覺しなさい」と肩へ手を掛けて揺り起し、治右衛門は「治、コレは當さんお出下すつて有難うございます」「曉、今お前は堪りにうなされたが何かしたか」「治、ヘエ、今女房が來りました、曉何に女房が來た、何處から來た」「治、ヘエ、薔所の戸を排けて貴方下の後を通つて私の側へ參りました」「何に勝手に入り入つて來た、其々め、後を通つて入つて來た」「治、左様でございます、曉、「テナ」と四邊を睨で曉室は一引寄せ身構へたり。

[illegible]

廣告



新荷著
ス井
ツル
製懷中時計
ルアン
機械

[illegible]

向上の路は

一歩も休まれない。餅し乍ら
 永久に最善の品質を提供する

花王石鹼

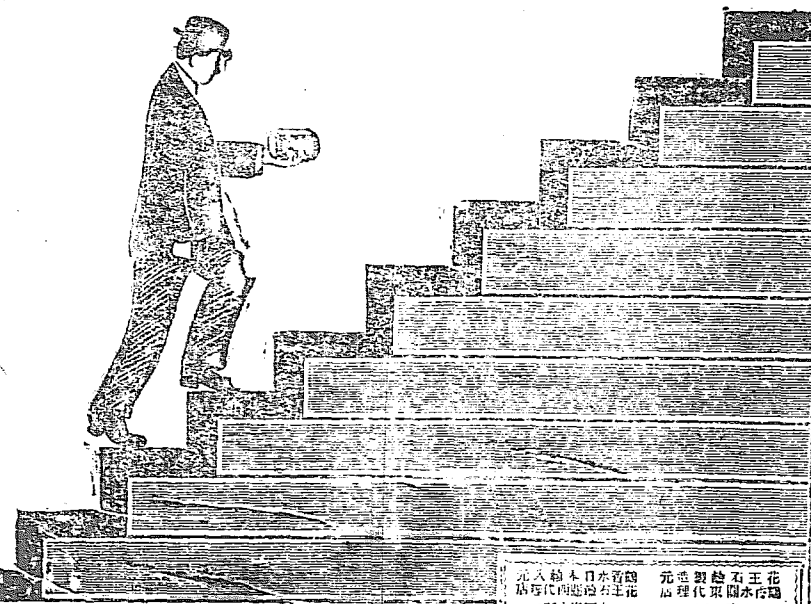
使用は怎うしても
 缺かされない！



附けて高尙で非常に美しく

生地きぢの色いろまでも白しろくなる
ウツ美うつみの素白粉すじょうこな

クラクラ白粉



元入舖本日本香鶴 店理代西豐路石王花	元德製總石王花 店理代東關水街臨
町土安板大	町喰馬京京
會商卸轄大	會商湖星

年末に辭令を受ける方も辛らいが

▼免官の辭令　を免職し又
免座せんとしつゝある、現に三十日
にも内地人二十名許りと朝鮮人が二
百餘名免官になつた、然し土地調査
局は臨時官廳で大正七年度末になれ
ば全部事業が濟んで局長以下を通じ
御用済みとなるのである、其の事
業終了までにボツ／＼仕事が片附い
て行く、片附く丈りの人を解職する
コレは恒久の官廳と違つて止むを得
ない、鈴木局長和田調査長に

▼幾千派が多　くても如何
つてゐる、斯く幾千と違つた金の出
來たのは全く調査局に奉職した爲め
であるからさて大に感謝しつゝ、一
人から田舎に歸り土地でも買つて百
姓をするところが多いさうだ又此
の視見により大に恐ろけを來せるは

▼朝鮮人官吏　親手の下
屬は彼等でも最も多額の俸給を先づ
たのである、而して内地人の高等官
や判任官は貯金も多く、現金もあり
存外裕福だ云々、尙ほ土地調査事
業が終了すれば臨時行實を行なひ

地方には近來船

あるが止さずのは幸い、殊に折角喉を導き得たと見えては辛い。

▼氣持もよく　眼り合ひも

そしては少くからぬ苦痛あり、此頃は大分瘦せて酷い近視鏡の底に光る目も凹んでゐる。和田氏は語る「人を採用するのば

●辱しめられて

日下夜下關警察にては一晩に六十四名の藝妓を拘禁したり(門司特報)

訴人

男を合せて、死ぶに能ふの交際しな
る。尤も郡廳や、其他の官廳に出
来るだけ轉職し世絶るが爲に、何
千と云ふ數を消化す事は到底及ば
ぬ相續である

▼免官者の中 には色んな
者もてね、僕^{わが}の所に哀願やら涙い
荷^お状^{じやう}やらを送つて寄越す、期^きけて
百十九圓餘を合せ支拂ひ請求の訴^うえ
り恩料^{おんりやう}二千圓、損害賠償金二千
圓として、京城金正釋辯護士を託^{たく}認^{にん}
理人とし同里居住の鄭^{てい}時永を相手取
り恩料^{おんりやう}二千圓、損害賠償金二千
圓を合せ支拂ひ請求の訴^うえ

訴へて負けた

告の請求訴訟は何

の大海は多く潮地、説所の本官である、從つて課長の中田技師も平素の快活に似ず此頃には下り向いて沈んでゐる、皆て其の誠になつた二千人はドコに行くか、一體、

▼調査局で行か 局員の懸念をやる事が既に初めから分つてゐるので初めから移務所の獎勵に從つてゐる、殊に局員の多くは外務に從ひ其等は俸給を受けた上に相當額の旅費も貰ひ生活費は旅費で支拂ひ俸

原告の請求訴訟は何れも却下す判決となりて被告側の勝所に歸するが其の事實に依れば韓流船は亡く李義仁との間に李洪なるが生れれた人は十八歳の時金氏を遇へて妻とし其の間に李希男なる一子を擧げが李洪は間もなく病死し爾來金氏は十六年の間、病を續續及んで紙業を營みて月収三圓五十錢位で一家は兎角に生活しゐたに、偶本年八月中金氏が鄭海嶺と別居す

て同女を弄ばんと

に於て嚴重取調中

○**花嫁に騙されて**

野人の姫姫請求の認訴
京城茶屋町村書輪は劉文煥辯士を
認訴代理人として同町郷淳徳の娘姫
平盛を相手取り婚姻請求の訴訟を京
城地方法院に提起せり其の要旨に依
るに於て前記の被害を蒙りたりとは原
因に再度暴力にて弄びたる爲め金氏は
世間能を耻ぢて遂に同夜栗山にて發
死するに至り是が爲め遺族は生活難
を訴へ前記の被害を蒙りたりとは原

所にて探知し關係者一同を取調べた
る爲め果さざりしが此事を所轄憲兵
の上一同を一應放逐したる爲め同月
十一日夜又も時水は金氏の宅に至
り再度暴力にて弄びたる爲め金氏

懷姫せうきぜし

實落して世間に聞け他の方面には
 官憲にて取調を受けるが如き外
 辱ちての結果金氏は遂に自殺す
 に至りたるものにて慰籍料又は損害
 賠償を爲すの義務なしと抗辯したり
 元來朝鮮の慣習に於て未成年者の法
 定代理人は父母にして父母なき時は
 伯叔父が引受たる例なきは祖傳の
 親戚關係は法定代理人と認むるを導
 硬く取れば十月十九日には平癒の
 實は鄭俊植立會ひにて冠婚の式を
 行ひて大人の姿となり來春二月の吉
 日を選びて華國の典を擧ぐる契約
 なりたるも尙其の期間以内にて除
 意棄式し得る契約をなし置きたるに
 十月二十三日に至り突然破約を申込
 まれたるを以て其の理由を探するに
 に花嫁は他に轉嫁せんと企て居るこ
 と判明したるのみならず右の契約に

私通をなしたるは

●火葬車を襲ひし犯人逮捕さる

はんにん

本浦火葬場間松某方の火葬倉庫にて十一月十三日夜ダイナマイト十一貫匁管四十一個点火線二十六把(百四十二圓)を窃取されし事件あり引續き

平安北道定州郡玉泉廟上土鑑河農白化信三、同洞金氏宅に去る十月十七日夜共謀の上金氏の木夫金利元を殺害し死體を谷川に遺棄したる事件、平壤地方法院に於て審理中の處本月十三日兩名共死體の宣告を受けたるが、被告兩名は此判決に限らず平壤府審判院に控訴を申立てたり今被告兩名が金利元を殺害したる事情を記さる

●新報(外)

大韓地那、新報をく

圓を窃取されたる

動
 之が犯人、殿探中の處本月二十七日、遂に釜山署の手にて犯人を逮捕する。此を
 を得たり。賊は九月迄松永火薬店に
 居たるが夫ありては、將來盜夫と目付
 し難きより、遂に殺意を生じ、本夫を殺
 害す。其謀は、本夫對睡の際を窺ひ、金
 貨を以て抵抗し、邪魔を爲し、本夫を
 白化僧は細繩を以て本夫の首に巻き、

ひら三ひら足下あしもとに轉ころげ

[illegible]

谷川に該屍體を投

九名共謀して

官文書偽造

金北山郡三箕河邊湖李鐵濱(九全)
金山郡草堂山下五里鄭振源(一)金州清
水町鄭炳詰(二)金山郡金山黃谷里
朴東先(三)同面金池里申崇塔(六)同
面北一面永登里李大使(八)及び外三

口大入。△人合州目的の名により、京城台
唱問△活動會、英米國の軍隊機敏隊外敵を

●新聞展覽會 東京日本電報

通信社の主催にて二十六日より上野
美術協會に開ける新聞展覽會は朝來
の入場者却々多く殊に日曜日はなれば
學生や官吏多數を占め明治前より今
日に至る新聞の發達史を判り易く見

造して各郡廳が士

●**木枕で撲殺す**
北沢藩御江戸縣面金光里金井義一(三)が、近して各郡縣土地の所有權を證明したるが如き官文書を作製し之を偽造保として群山築町茶本熊太郎及び狸里築町馬宮洪の兩名より大金を詐取したることを縣山憲兵分遣所にて探知し昨記の犯人は何れも此程悉く懲罰せられたり

●**温突から火**
京城玉川洞二六六番澤田○方温突より二十八日午前十時頃失火したるより常備消防出動居宅一棟半焼したるのみにて同九時頃鎮火せり損害約六十圓原因未詳

●**新聞記者の手記に於ける原稿の陳列は非常に人氣を惹き起し**
○(東京)

●**新聞記者の手記に於ける原稿の陳列は非常に人氣を惹き起し**
○(東京)

私方に雇はれ行き

右方に應はれ行き、且夜午後七時頃父・姉・同家の客室に横臥し居る折、前・社・風塵が入り来り、自分の御入来に・起上らねは不都合なりと傍らに在り・たたる木枕を在善の横面に投げ付けたれば、在善は目を廻はして打倒れたるを感念は、尙も在善を捕らへ、所獲はすを兄弟供に仕善の兄風塵より来りて、兄弟供に仕善を打倒し且つ蹴飛ばして兄弟供に仕善を擡すと共に、然し遂に死亡したるが杜風兄弟

かざりしものなりと

●若者に感謝狀 去る廿七日黎明釜山西明大火の際、商業會議所の三層樓に飛火し大事に至らんとする一刹那、人の若者千歳消防副長の指圖に従ひ、同三層樓の尖端に攀ち上り下より懸けしホースを以て、瞬く間に燃へ上らんとするスレート葺家屋の火の手を消し止めたが、此の勇敢なる人物は東本願寺前ペンキ廠へ平吉

● 壽町、掘開

一連の感謝狀と若干金の謝儀を呈し
 功勞に酬ひたりと
 言明掘明に無相
 朝鮮戰艦造營の計畫に伴ひて來
 町より總督府前に至る道路は近く鐵
 張せらる可しとの略或る一部の間に
 流布せられ沿道居住者中氣早の者は
 移轉先きを窺鑿する向もある由なり
 然るに總督府當局者の言明せる所に
 田東方に應はれ中下宿人なる平山某

◎料理人の窃盜 京城大明
 二丁目居住佐賀縣西松浦郡有山町生
 の料理人廣次佐佐木光次郎は朝
 科一犯あり六月下旬永樂町二丁目角

の如き訛傳を流布

に乏しかるが如きと云ふことなるれば、關係者
の如き配帳を流布するより從來其の例
にかはる流言に迷はせる意外の迷惑
を蒙るが如きこと無き様各自注意す
可しと

●朝鮮慈善會 音樂會
（九）

韓人及び白耳等貧窮孤兒救濟の爲
めに京城内地人及び外國婦人有志の
發起せる慈善音樂會は十二月二日午
後六時半より朝鮮ホテルに於て開催
王國音樂隊の奏樂に次いで活動寫送らる

外方三箇所にて衣類三十八點及現金
三十圓を寄附したる一件は京城地方
法院にて懲役三年の處分となれり

●鮮婦人のモヒ密賣 平壤府新陽里
無職林昌史（？）は大正五十一月八日
日黃海邊邑内露宿李慶龍なる若より
モルヒネコカイン二匁を買ひ受け廿
兩を平壤に持歸りて平壤府本町一郡
地獄成年に七十錢に賣却したる廉に
依り藥品取締令違犯として檢事局へ

店員入用 十七

[illegible]

市丁
願寧
上に
候御
吉取
野扱
町位
一候

[illegible]

番

番外

名古岸押の兇行徒に少しく不明持渡は業。其時
 々々發見の上御知照する方には相當に注意を要
 する。京城本町一丁目

(電話)一九七 あぶらや衣振部 816

留人員 但し拾八人、芝蓮の事 815

一確かなる身分保証人を要す。

本人長谷川昭吉 電掛四六番

京城本町一丁目 中島京成支店

移轉粉餅鉛封

原料鷹黃の高め十二月一日より食費

印及の進り儘上致候小賣一磅十管

印及一磅九錢 太平堂小賣

(電話)一四三二

製造委託板組


社員募集
来談
保証

野居
 疑証書携來談ありなし
 京坂府南大門通二丁目
 大同生命保險會社 張寅
 737

寫眞術教授會
 定元せる講義録と質疑進の獨特
 見本付規別銀町 大日本 眞喜會
 67

朝鮮語科
 新學月修後
 各級補授
 738

太平通二丁行
旅館目二


中古車
 御用の方には御一見
 京城路二二七番地
 電話 二三三八番

恩和月壹分即金
 利子酌宜 通過銀行 秘密嚴密
 京城若草町二丁目
西村商會

京城
間乘自動車
 春城發 台入
 京橋水標橋通り
 電報本橋橋通り
 支店 八番
 京人松田商會

御用の方には御一見
 京城路二二七番地
 電話 二三三八番

恩和月壹分即金
 利子酌宜 通過銀行 秘密嚴密
 京城若草町二丁目
西村商會

京城
間乘自動車
 春城發 台入
 京橋水標橋通り
 電報本橋橋通り
 支店 八番
 京人松田商會

御用の方には御一見
 京城路二二七番地
 電話 二三三八番

恩和月壹分即金
 利子酌宜 通過銀行 秘密嚴密
 京城若草町二丁目
西村商會

京城
間乘自動車
 春城發 台入
 京橋水標橋通り
 電報本橋橋通り
 支店 八番
 京人松田商會

<p>京城日報代理部</p> <p>(振替 京城三〇〇番)</p>	<p>銃獵の趣味</p> <p>今や狩猟の好季節となれり。狩猟者として必読の書可らざるものなし。本誌も卷中寛むる所は、この趣味に對する射撃の知識を修養し、銃器の構造と射撃の要領を解説し、附録として狩猟規則その他狩猟者の好場所を示し、獵者の案内となる可き也。</p>	<p>教員養成</p> <p>小學校教員、准教員、尋常小學師範入學試験受験科目各講義、大部分男女高等師範教授此際則ち看より大特典先づ台長澤柳博士(東京市牛込區津久戸町二四)日本師範學會</p>	<p>新報版新</p> <p>大正法華經講義 定價六十五圓 坪内著 義太夫集 卷上 定價七十五圓 邊野著 新しき生命 定價八十五圓 森田著 虛榮の女 定價九十五圓</p>	<p>純人蔘精腦を必要とする</p> <p>本洲の泰幼絶對に確實なる普及する爲</p> <p>「富分定價の割引」 一箱六十圓 二箱五十圓 三箱四十圓 四箱三十圓 五箱二十圓</p> <p>「を以て提供す」 電話二三〇九 振替口座 京城三八一〇番</p> <p>朝鮮製藥專賣所</p>	<p>將魂に魔法瓶</p> <p>この天との魔法瓶が活供をするれば</p> <p>大輝受合ひ 大喜ひ</p> <p>皮肉 奥さん大喜ひ</p> <p>門前形金芳岡子氏</p> <p>▲水筒形同 二百円 ▲角形同 四百円</p>	<p>かしわすき焼</p> <p>品質吟味器具完備仕り候間</p> <p>御料理切手(松園新案)</p> <p>金五十錢以上何程にても謝進可仕候</p> <p>京城南山町 電話一一八五番</p> <p>松園</p>	<p>資本金五拾七萬五千圓(全部拂込済)</p> <p>諸積立金二十四萬百圓</p> <p>株式會社 朝鮮商業銀行</p> <p>京城南大門通一丁目</p> <p>一般銀行業</p> <p>倉庫業</p> <p>銀行長 趙田明 敬泰</p> <p>支配人 豐田</p>	<p>電話 三四四番 南大門支店</p> <p>電話 五二九番 本町支店</p> <p>電話 二一九番 東大門出張所</p>	<p>電話 二〇四番 仁川支店</p> <p>電話 一六六番 平澤支店</p> <p>電話 八六三番 東大門出張所</p>
--	--	---	---	--	---	---	---	--	---

